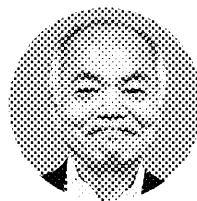


埼玉県信用保証協会
会長に就任した

砂川 裕紀氏



横顔

2020年から4年間、埼玉県副知事を務め、新型コロナウイルス対応に奔走した。「何が正解か分からず終わりが見えない中だったが、全庁一丸となりチームワークを発揮し取り組んだ」と振り返る。

新型コロナウイルス類に移行して経済は回復に向かうが、足元では円安やエネルギー・原材料高で苦しむ中小企業が多い。

保証協会として「金融機関や商工団体らと連携して、中小企業に最適な支援を届ける。企業が自社の強みを生かして収益力を高めることにつながるようサポートしていく」と抱負を語る。

目下の課題は広報機能の弱いこと。「中小企業に保証制度を理解して活用してもらった

(さいたま)

すなかわ・ひろき
82年(昭57)中央大法学部卒、同年埼玉県入庁。
13年総務部税務局長、
15年病院局長、17年企画財政部長、20年副知事。沖縄県出身、66歳。4月26日就任。